

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
SIENTA

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

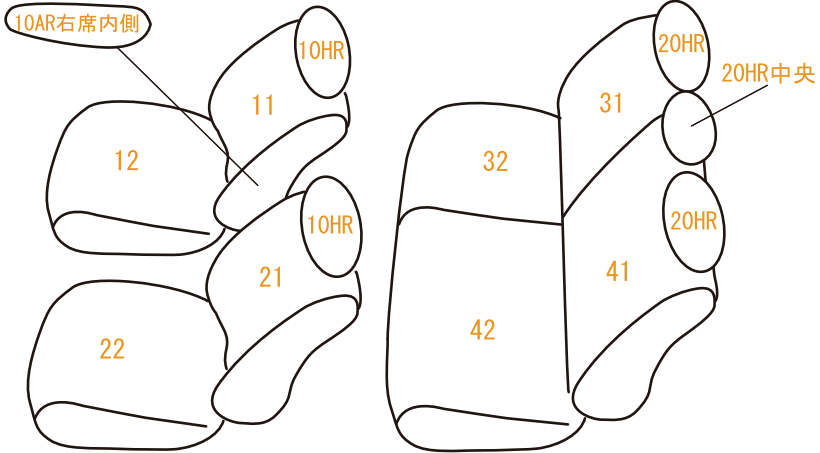
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 8P~10P
2 列目座面の装着方法	…> 11P~13P
2 列目背もたれの装着方法	…> 13P~15P
ヘッドレストの装着方法	…> 15P~17P
アームレストの装着方法	…> 17P~18P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 19P~20P

本製品シート形状とパーツの名称

※運転席アームレスト装備車



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (14mm) ※運転席アームレスト装備車のみ必要
- ② クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目座面の装着方法

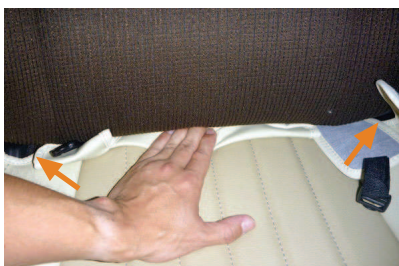
※本説明書はシートヒーターやサイドエアバッグのオプション装着車なども共通で説明を行っています。



- 1 始めにシート背面下からシート裏にゴムで固定されている生地を、図のように外します。



- 2 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



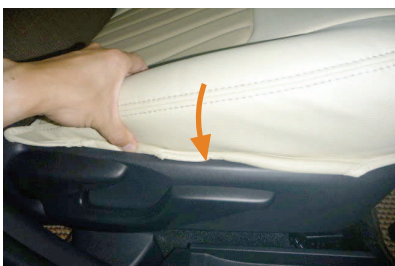
- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。図の矢印部分、シートの軸廻りは隙間が大変狭くなっています。シートを後ろへ倒した状態で生地を入れ込み、その状態から前にシートをリクライニングさせると生地が奥へ入っていきます。



- 4 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。図のようにカバーはシートヒーター装備車・サイドエアバッグ装備車にも対応できるようにカバーに切れ込みを入れてあります。該当する車両は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



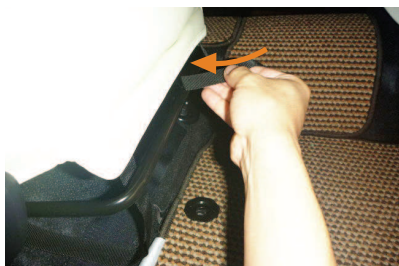
- 6 カバー両側面の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



7 シートの付け根部分は隙間が狭くなっています。ヘラなどでリクライニングレバー側へ向けて入れ込むようにすると、生地が綺麗に収まります。



10 引き出したベルトを4番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



8 カバー前側に付いているベルトをスライドレバーの上を通して、シート背面へ入れ込みます。ベルトはシート裏の金属バーなどの上を通すようにして下さい。



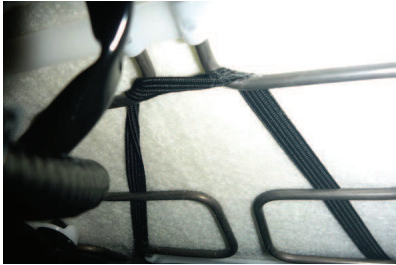
11 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央を通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。
強く引き過ぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまいます。ご注意ください。



9 シートの背面から入れ込んだベルトを引き出します。



12 4番で引き出した生地についているゴムをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 13 12番のゴムは、シート裏の金属部分に図のように引っ掛けて固定します。



- 14 シート背面の生地は図のようになります。生地が図のようにたるみがあるようになりますが、背もたれカバーを装着すると、こちらの部分はカバーの中へ隠れます。
※10ページ16番を参照下さい。



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。

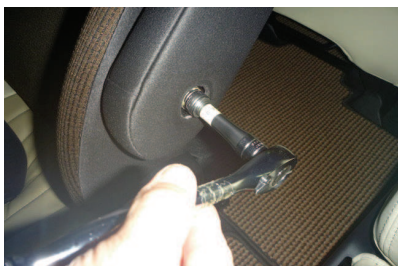
Step 2

1 列目背もたれの装着方法

アームレスト装備車は、シートからアームレストを外してカバーの装着を行います。
アームレスト未装備車は、4番から始めて下さい。



- 1 始めにヘラなどを使用して、アームレストの軸部分に付いている図のキャップを外します。



- 2 キャップを外すと、中にボルトが見えますので、ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。(ソケット14mm)



- 3 ボルトを外すと、図のようにアームレストが外せます。



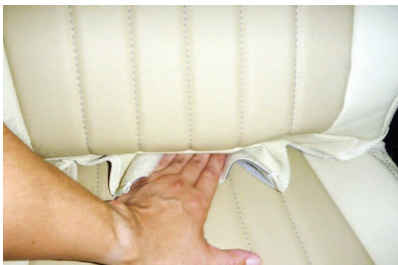
- 4 カバー側面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



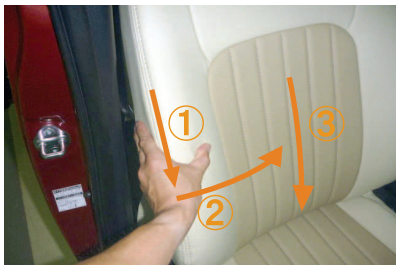
- 5 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



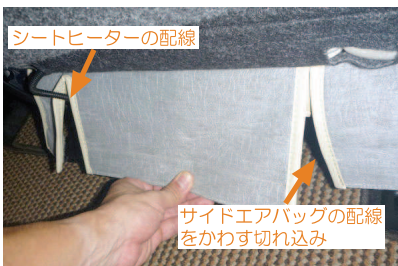
- 6 生地伸びを利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 10 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



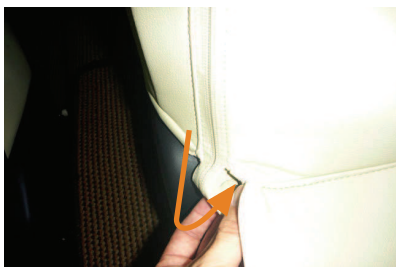
- 8 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図のようにカバーはシートヒーター装備車・サイドエアバッグ装備車にも対応できるようにカバーに切れ込みを入れてあります。該当する車両は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。



- 11 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 9 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



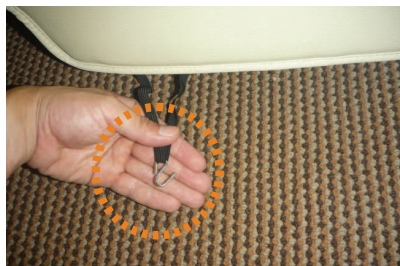
- 12 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 13 8番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。シートヒーターやサイドエアバッグ装備車は、配線部分に注意して作業を行ってください。



- 16 カバー背面下は図のようになります。



- 14 カバー背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 17 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。
※アームレスト装備車は17ページからのアームレストの装着方法を確認して下さい。



- 15 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

Step 3

2列目座面の装着方法

※助手席側座面で説明します。



- 1 始めに、シートベルトバックルを固定しているゴムを外します。
※外したゴムは、カバー装着後は使用しません。カバーに付いているゴムで代用します。



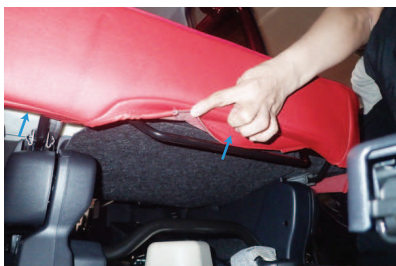
- 2 シートのラインに合わせて、シート全体にカバーをかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 5 カバー前側の生地に付いているマジックテープをシート裏に直接貼り付けて固定します。



- 6 4番で引き出した生地に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



7 4番で引き出した中央席側の生地をシートに直接貼り付け、ヘラ等で軸部分に生地を入れ込みます。



10 シートベルトバックルをカバーに付いているゴムに通します。



8 シートベルトバックル収納部分に生地を入れ込み、生地裏に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



11 ヘラ等を使用し、プラスチックカバーとシートの隙間に生地を入れ込みます。



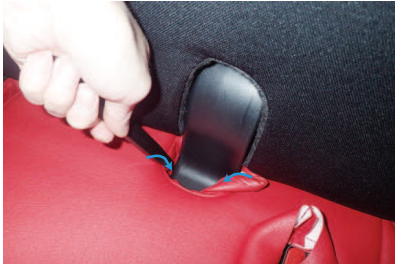
9 内側面（バックルの横）に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



12 外側面の生地に付いているマジックテープをシート裏に直接貼り付けて固定します。

Step 4

2列目背もたれの の装着方法



- 13 シート中央部分の軸の隙間に生地を入れ込みます。



- 14 シートベルトバックルにシートベルトを挿し込み、シートベルトバックルを引き上げながら、隙間に生地を入れ込みます。



- 15 カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。
形状は異なりますが、運転席側も同様に取付けます。

※助手席側背もたれで説明します。



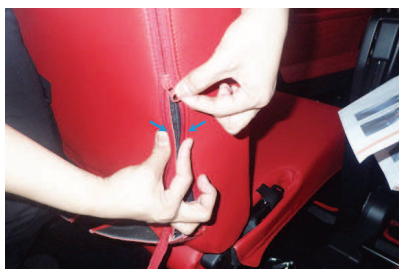
- 1 側面のファスナーを開け、シート全体にカバーをかぶせます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



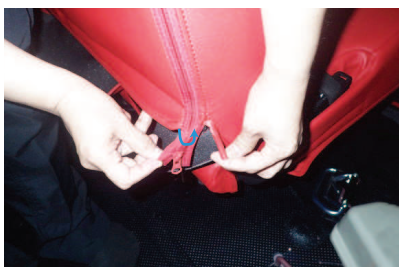
- 3 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



4 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。



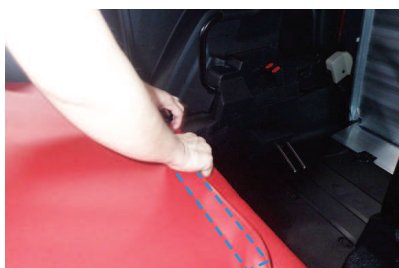
7 内側面部分の生地をなじませます。



5 ファスナーの端をカバーの内側へ入れ込みます。



8 軸部分に生地を入れ込みます。



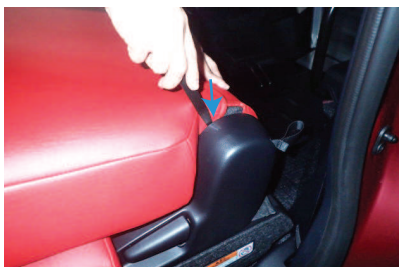
6 3番で引き出した生地についているマジックテープと、背面下部の生地裏についているマジックテープを固定します。



9 8番の作業で後ろの方まで生地が入り込まない場合、背もたれを倒して後ろ側から入れ込みます。

Step 5

ヘッドレスト の装着方法



- 10 ヘラ等を使用し、外側の軸部分に生地を入れ込みます。



- 11 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。形状は異なりますが、運転席側も同様に取付けます。



- 12 背面の完成図です。



- 1 1列目ヘッドレストです。カバーを図のように裏返してヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。カバーは板状のプラスチックが付いている方が前側です。



- 2 ヘッドレストのラインに合わせて、左右均等にカバーを引き下げてヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 4 ブラフックの固定方法は、カギ状のプラスチックに、板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



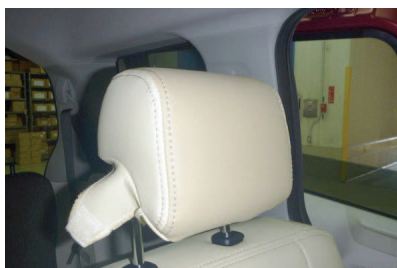
- 5 ヘッドレスト裏は図のようになります。



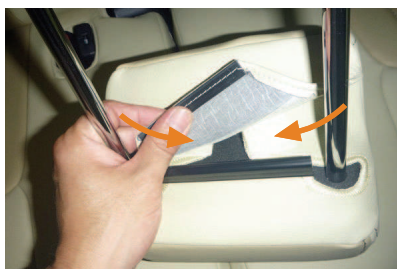
- 6 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 7 2列目左右席ヘッドレストです。ヘッドレストの先端からカバーを下から上へ持ち上げるようにしてかぶせます。先端部分の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。カバーは板状のプラスチックが付いている方が前側です。



- 8 ヘッドレストのラインに合わせて、カバーを全体にかぶせます。



- 9 ヘッドレストをシートから外してヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながらマジックテープで固定した後、1列目と同様にブラフックで固定します。

Step 6

アームレスト の装着方法



- 10 2列目中央席ヘッドレストです。ヘッドレストの後ろ側から前側に向かってカバーをかぶせます。カバーは板状のプラスチックが付いているのが前側です。



- 11 ヘッドレスト裏でカバーの両端に付いているマジックテープ同士を、生地を内へ寄せ合い固定した後、1列目と同様にブラックで固定します。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

※運転席アームレスト装備車のみ必要な作業です。



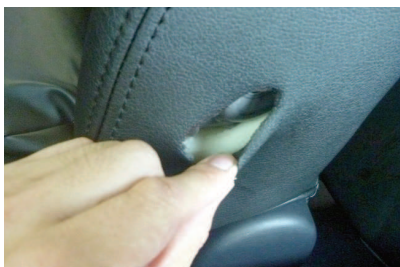
- 1 1列目運転席アームレスト装備車は、背もたれカバーに穴開け加工が必要です。背もたれカバーが正常に装着できていることを確認します。カバーに穴開け加工した後は、カバーをずらしたりすることができなくなるのでご注意下さい。



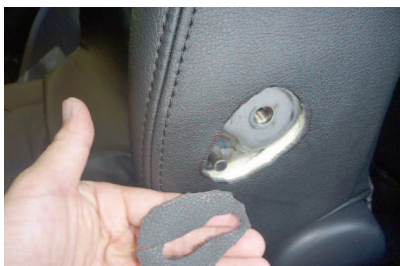
- 2 生地の表面からアームレストの軸部分を触り、丸く突起した部分と、ボルトを固定していた穴の部分を確認します。確認ができたらその位置にペンなどで印を付けます。



- 3 2番で印を付けた部分をつなぐように、カッターやハサミを使い、図のように生地を切り取ります。この際シートを傷付けたりしないようにご注意下さい。



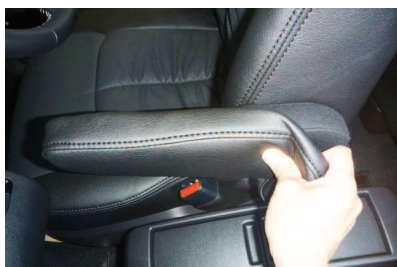
- 4 3番で開けた穴から内側を見て、シート表皮の穴と同様の大きさまで生地を切り取ります。3番で開けた穴の大きさでは、アームレストの可動時に強い生地同士の摩擦が生じますので、必ず行って下さい。



- 5 図のように生地を切り取ります。いきなり大きく開けようとせず、始めは少し小さめに穴を開けて、徐々に広げるようにすると切り過ぎることがなくなります。



- 6 アームレストを元に戻します。キャップの付け忘れにご注意下さい。



- 7 アームレストをシートに戻した状態でカバーの装着を行います。アームレスト先端までしっかりとカバーを入れ込み、アームレストのラインに合わせて全体にカバーをかぶせます。



- 8 アームレストの軸部分に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 9 軸周辺の生地を全て隙間に入れ込みます。カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816